

公益社団法人 私立大学情報教育協会
第1回 歯学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日時 平成24年6月20日(水) 10:00~12:30
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 神原委員長、佐藤委員、齊藤委員、花田委員、藤井アドバイザー
(事務局 井端、森下、平田)

III. 検討事項

昨年度まとめた学士力(コアカリ)実現に求められる教育改善モデルを実現するための教育力について、今回と次回委員会2回で文章化することにし、教育力を検討する経緯や背景について事務局より説明した後、今回は「歯学教員の教育力」のうち、歯学教員に期待される学識についてまとめた。

1. 教育力まとめの背景、趣旨

大学ガバナンスの方々に教育改善モデルを理解してもらい、質の高い授業を大学として実施していく必要があることを提案するにあたり、組織的な努力の前に必要な、教員としての振り返りや教員として向上していく戦略を明らかにすることが必要であるということを背景に教育力をまとめていくこととなった。

2. 歯学教員の教育力(歯学教員に期待される学識)

あらかじめ委員が作成した原案をもとに、歯学教員の教育力としては、①歯科医師を育てる歯学部の教員は、自身が豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有するとともに、グローバルな感性を持って地球社会の観点に立ち、人の命と生活を守る強い使命感を有していることが望まれること、②人間のもつ多様性や多面的な価値観にも対応して患者に最適な歯科医療が提供できるよう、医学を含めた他分野の多様な領域について、歯科医学との統合的な関連づけができることが望まれること、③次世代の医療を予測し、新しい医療を創造できるよう、歯科医学の世界の潮流を理解し、将来の歯科医療に対する新たな課題の発見、問題提起、科学的根拠に基づいた探究ができることが望まれること、④地域歯科医療の充実を図り、歯科医師法「第1条 歯科医師は、歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。」の主旨も踏まえて公衆衛生の向上に寄与できることが望まれること、⑤歯科医学と歯科医療の意義を理解させ、学生に気付きを与え、主体的に取り組ませられること、⑥ICTによってグローバルに情報のやり取りが行われているので、そのことに意識を向けることが重要であり、例えば、KHANACADEMYのようなオープン型の教育を実践できることが望まれることなどが検討され、以下のようにまとめた。

【1】歯学教員に期待される学識

- ① 豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、地球社会の観点に立った強い使命感を有していること。
- ② 他分野の多様な領域について、歯科医学との統合的な関連づけができること。
- ③ 歯科医学の世界の潮流を理解し、将来の歯科医療に対する新たな課題の発見、問題提起、科学的根拠に基づいた探究ができること。
- ④ 地域社会と歯科医療の連携をコーディネートし、公衆衛生の向上に寄与できること。
- ⑤ 歯科医学と歯科医療の意義を理解させ、学生に気付きを与え、主体的に取り組ませられること。
- ⑥ ICTなどを利用した教育技法を駆使して、オープン型の教育を実践できること。

3. 次回委員会

次回は7月26日(木)10:00より開催することにし、歯学教員の教育力の2番目の項目である、「教育改善モデル実現に求められる教育力」について引き続き検討することにした。